

製品名: クローディン 4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08908**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	CLDN4
別名	CLDN4; CPER; CPETR1; WBSCR8; Claudin-4; Clostridium perfringens enterotoxin receptor; CPE-R; CPE-receptor; Williams-Beuren syndrome chromosomal region 8 protein
遺伝子 ID	1364.0
SwissProt ID	O14493
免疫原	抗血清はヒトクローディン 4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 160-209

背景

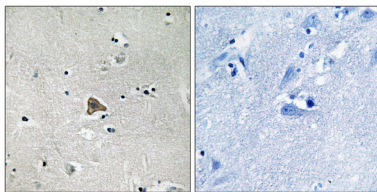
このイントロンを含まない遺伝子によってコードされるタンパク質は、クローディンファミリーに属します。クローディンは、上皮

細胞のタイトジャンクションを構成する膜貫通タンパク質であり、細胞間隙における溶質とイオンの移動を制御します。このタンパク質は、ウェルシュ菌エンテロトキシン (CPE) の高親和性受容体であり、出生前および出生後の内臓の発達と機能に関与している可能性があります。この遺伝子は、複数の器官系に影響を及ぼす神経発達障害であるウィリアムズ・ボイレン症候群で欠失しています。[RefSeq 提供、2013年9月]疾患: CLDN4 のハプロ不全は、まれな発達障害であるウィリアムズ・ボイレン症候群 (WBS) で観察される特定の心血管系および筋骨格系の異常の原因である可能性があります。これは、染色体バンド 7q11.23 の遺伝子が関与する連続遺伝子欠失症候群です。機能:細胞間隙のタイトジャンクション特異的な消失に主要な役割を果たします。類似性:クローディングファミリーに属します。サブユニット:TJP1/ZO-1、TJP2/ZO-2、および TJP3/ZO-3 と直接相互作用します。、

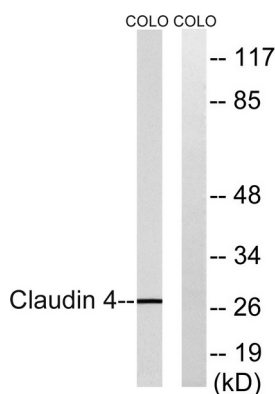
研究分野

細胞接着分子 (CAM)、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、

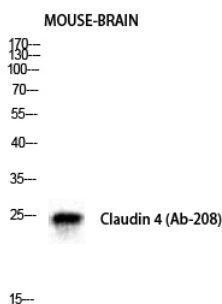
画像データ



Claudin 4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



Claudin 4 抗体を用いた COLO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 希釈の Claudin-4 ポリクローナル抗体を用いたマウス脳細胞のウェスタンブロット解析